

企業にとって身近な事例をもとに学べる！

第3版

法改正を反映した  
最新版!!

# 会社員のための 事例で学ぶ コンプライアンス

- 監修 / 島田 浩樹 (設楽・阪本法律事務所 弁護士)
- 編集 / 吉川 信将 (山口大学 経済学部 教授)
- 体裁 / テキスト: B5判・本文2色刷・160頁
- 価格 / テキスト: 2,000円 (本体1,905円)



## 本書の構成

## 各テーマの事例を紹介

**事例 12** 忙しい、忙しい。残業につぐ残業だ

Aさんの同僚が年度の途中で退職しましたが、後任人事は春になりそうです。決算が近づくにつれて、Aさんが退社する時刻は遅くなるばかりです。先月は70時間も残業しました。今月に入ってから残業のペースはそれを上回り、Aさんは毎日のように終電での帰宅です。一方、給与明細を見たら、予想していたより先月の残業代が多くなっていました。給料が増えるのはありがたいけれど、これでは体がもたないとAさんはジレンマを感じています。

**POINT** 法定労働時間を超える時間外労働に対しては、通常の賃金よりも割増して計算された賃金を支払わなければなりません。深夜労働や休日労働に対しても同様です。割増賃金さえ払えば、いくらかでも労働させていいというのではなく、会社は、労働者が健康を保持しながら、生活時間を確保しつつ働ける環境を整備することが急務となっています。

**解説 1** 労働時間

労働時間とは、従業員が会社の指揮命令のもとに置かれている時間であり、実際に業務を遂行してはいないが、いつでも業務につけるよう待機を命じられているといった時間も含まれます。休息時間は、その時間を社員が自由に使える時間であるため、労働時間に含まれません。

労働時間の上限は、原則として、1日8時間、1週間40時間、法定労働時間といえます。

事例の背景にある社会的な動向や法令等の考え方やポイントを解説

夜労働と割増賃金

就業規則で決められた所定労働時間 (たとえば9時から17時半まで、1

1 職場のコンプライアンス

**概論**

時間の休憩を除いて、1日の労働時間は7時間半)を超えた労働であっても、それが法定労働時間(1日8時間)の範囲内に納まっている限り、会社には残業部分に対する割増賃金の支払義務は発生せず(法内残業)、残業部分についても通常の賃金を支払えば足りず、

会社は、法定労働時間を超えた部分の時間外労働に対して通常の賃金の2割5分以上の率の割増賃金を支払わなければなりません。深夜22時以降の労働に対しても2割5分以上、休日労働に対しては3割5分以上の率の割増賃金を支払う必要があります。

なお、時間外労働が深夜労働にも該当する場合、双方の割増賃金率が合算されて割増賃金は通常の賃金の5割以上、休日労働が深夜労働にも該当する場合、同様に割増賃金は通常の賃金の6割以上となります。

**解説 3** 法定割増賃金率の引上げ

長時間労働により心身をむしばまれる労働者が増えていることから、長時間労働を抑制することを目的として、労働基準法が改正されました。2010年4月から、法定時間外労働時間に対する割増賃金率を5割以上とした部分に対する割増賃金率は5割増賃金による使用者の経済的負担を抑制しようというものです。労働者が健康を維持し、生活時間を確保することも可能です。なお、

各テーマを  
コンプライアンスの  
観点から解説

**根拠法令等** ▶労働契約法5条(労働者の安全への配慮)、労働基準法37条(時間外、休日及び深夜の割増賃金)、労働基準法第37条第1項(時間外及び休日の割増賃金に係る率の最低限度を定める政令)

**罰則例等** ▶労働基準法37条に違反した場合、6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金に処せられる。

根拠となる法令等を明示

## 理解度確認テスト(別売)

テキストで学習後、インターネットで理解度を確認できます。\*  
4択式で全70問の中から20問を出題。自動採点方式なので結果をすぐに確認でき、何回でもチャレンジできます。  
理解度確認テスト用ID\*の他に同マネージャー用ID\*をご購入いただくと、受講者の進捗状況の確認・管理が可能です。  
※理解度確認テストはASPサービスです。  
※理解度確認テスト用ID、同マネージャー用IDは別途お申込みが必要です。

会社員のための事例で学ぶコンプライアンス 理解度確認テスト(2011年改訂版)

解答シート(313)70問

Unit 4 個人情報保護法における業務秘密に関する説明のうち、誤っているものを2つ選べ。

○1. 個人情報保護事業者は、個人データの取扱いの全部または一部を委託する場合は、その個人データの安全管理が図られるよう、委託先に対して必要かつ適切な監督を行うなければならない。

○2. 個人データを取り扱う業務を委託する場合は、同時に、個人データを漏えい防止、滅失防止に際して必要な措置を講ずる必要がある。

○3. 委託先が個人情報保護事業者であっても、最終的な責任は委託先が問われることはないが、委託先の選定には十分な注意が必要である。

○4. 個人情報の取扱いによる漏えい事件が多発したことを受けて、2009年、厚生労働省・経済産業省は個人情報保護法がコンプライアンスを改正し、委託業務とは関係のない個人データの委託禁止や優先的選定に関する2つの注意点を示した。

会社員のための事例で学ぶコンプライアンス 理解度確認テスト(2011年改訂版)

受験日時 2011年〇月〇日(〇)

結果 不合格

点数 20点

問:6

※各問題番号をクリックするとその問題のコンテンツです。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560  
http://www.daiichihoki.co.jp

Tel. 0120-203-694  
Fax. 0120-302-640

## Unit 1 コンプライアンス概論

### 1 コンプライアンスとは何か

- 事例01 コンプライアンスって、法令を守ることでしょね
- 事例02 あなたの会社の常識は社会の常識とイコールですか？
- 事例03 コンプライアンスはだれのため？
- 事例04 内部統制ってどういう考え方ですか？
- 事例05 内部通報したこと、左遷などされたら困ります
- 事例06 上司の命令による不正行為ならば責任はない？
- 事例07 会社が役員や従業員を訴える背景とは？
- 事例08 危機発生後の対応はこれで会社の未来は一変する
- 事例09 CSRってなんですか？
- 事例10 海外の生産委託先で不適切な労働慣行

## Unit 2 職場・社員とコンプライアンス

### 1 職場のコンプライアンス

- 事例11 一方的な賃金カットの通告は認められるか？
- 事例12 忙しい、忙しい。残業につく残業代
- 事例13 業務命令に反したら、懲戒処分を受けるか？
- 事例14 会社には、社員の心身の健康に配慮する義務がある？

### 2 人事とコンプライアンス

- 事例15 会社の業績が悪いときのリストラ解雇は、何の制約もなく許されるか？
- 事例16 転勤命令を拒否したら解雇されるのか？
- 事例17 業務時間外に社外で起こした暴行事件は懲戒処分の対象となるか？
- 事例18 60歳以上の雇用延長を認めないことは許されるか？

### 3 ハラスメント・差別とコンプライアンス

- 事例19 上司の立場を利用して関係を迫られたら？
- 事例20 社員がセクハラをした場合の会社の責任は？
- 事例21 パワハラで職場環境にヒビが入る

### 4 新しい就労形態とコンプライアンス

- 事例22 フレックスタイム制では超過した労働時間の清算を次の清算期間に繰り越せるか？
- 事例23 それでは「偽装請負」です
- 事例24 ワーク・ライフ・バランスで残業代がなくなるのか？

## Unit 3 環境とコンプライアンス

### 1 企業と環境問題との関係

- 事例25 持続可能な社会の実現に向けた企業の責任は？
- 事例26 企業が環境問題に取り組む際のポイントは？
- 事例27 民間企業にも広がるグリーン購入とは？

### 2 地球温暖化防止・省エネルギーとコンプライアンス

- 事例28 温室効果ガスの削減は義務ですか？
- 事例29 企業に求められる地球温暖化対策とは？

### 3 廃棄物処理・リサイクルとコンプライアンス

- 事例30 循環型社会を形成するキーワード「3R」とは？
- 事例31 産業廃棄物処理業者が産業廃棄物を不法投棄した場合、その処理を委託した会社の責任は？

### 4 公害防止・化学物質管理とコンプライアンス

- 事例32 有害物質を取り扱っていた工場等を廃止する際に留意すべき事項は？
- 事例33 化学物質の排出・移動量は報告しなければならない？

## Unit 4 日常業務とコンプライアンス

### 1 業務上の違反・不正行為

- 事例34 接待を受けた相手に対して、取引に手心を加えたら？
- 事例35 売上目標達成の厳命を受け、粉飾決算が蔓延したら？
- 事例36 会社のパソコンを私的に利用してウイルスに感染したら？
- 事例37 家族が経営する会社に有利な発注をしたら？

### 2 消費者保護とコンプライアンス

- 事例38 訪問販売でウソの説明をしたら？
- 事例39 通信販売の広告で返金等の条件が実際の条件とは異なる場合は？
- 事例40 電子メール広告を送信する際の注意点は？
- 事例41 消費者から契約を取り消したいといわれたら？
- 事例42 消費者に不利益な特約を契約に規定していたら？
- 事例43 商品の性能が実際よりも優れているとの表示は？
- 事例44 実際より高い金額を市価として、販売価格を安く見せたら？

### 3 公正競争とコンプライアンス

- 事例45 採算を度外視して商品を販売したら？
- 事例46 競争入札で事前に業者間で調整し、受注予定者を決めていたら？
- 事例47 多量発注の見積価格の単価を少量発注の単価としたら？

### 4 公務員倫理とコンプライアンス

- 事例48 物品納入先官庁の担当者をゴルフに誘ったら？
- 事例49 国家公務員の友人の結婚式のご祝儀も賄賂になる？

### 5 インサイダー取引とコンプライアンス

- 事例50 インサイダー取引として規制される行為の範囲は？
- 事例51 インサイダー取引における重要事実の公表とは？

### 6 個人情報保護とコンプライアンス

- 事例52 ウチの会社も個人情報取扱事業者？
- 事例53 個人情報を取り扱うルールとは？
- 事例54 社員が個人データの入ったパソコンを持ち出し、紛失したら？
- 事例55 業務委託先から個人データが漏れたら委託元も責任を問われる？
- 事例56 他会社から事業を継承した場合の個人情報の取扱いは？

### 7 営業秘密保護とコンプライアンス

- 事例57 営業秘密として保護される要件とは？
- 事例58 営業秘密の管理体制のポイントとは？

## Unit 5 知的財産とコンプライアンス

### 1 知的財産権の概要

- 事例59 他社の著名なブランド名と類似するドメイン名を使用できるか？
- 事例60 他人の商品形態を模倣した商品を製作・販売したら？
- 事例61 人気キャラクターに似せて自分で描いたイラストをチラシに掲載したら？

### 2 特許とコンプライアンス

- 事例62 まねをした場合でなくても特許権侵害？
- 事例63 職務上の発明について特許を受ける権利は会社に帰属するか？

### 3 著作権とコンプライアンス

- 事例64 新聞記事のコピーを社内で閲覧したら？
- 事例65 コンピュータのソフトウェアを不正コピーしたら？
- 事例66 自社のホームページに本人に無断で社員の写真を掲載したら？

### 4 商標権・意匠権・実用新案権とコンプライアンス

- 事例67 仕入販売商品でも商標権侵害？
- 事例68 商品区分が異なれば、同じネーミングでもかまわない？
- 事例69 意図的でなければ他社のものと似たデザインで商品を開発してよいか？
- 事例70 このアイデア、とるべきは特許、実用新案？

お試し読み、お申込はコチラ

＜クレジットカードでもお支払いいただけます＞



第一法規 027086

検索

CLICK!